

こども委員会のよりみちコラム

今回の担当：舘越容子

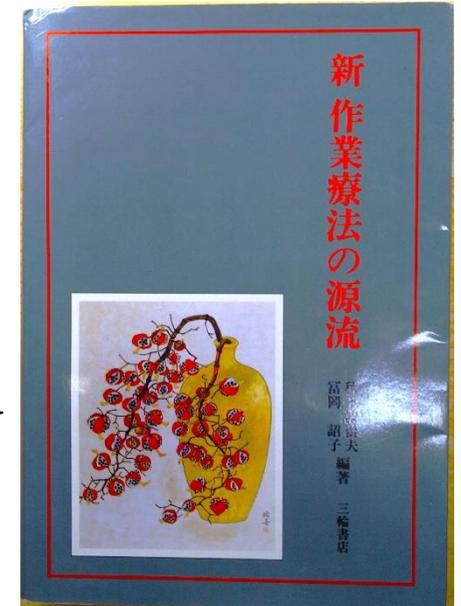
書いた日：2023年2月1日

こんにちは！今月は海と山がキレイな洋野町の舘越が担当させていただきます。よろしくお願いします！

私は OT になってからそこそこ経ちますが、こども委員会に在籍したのは昨年4月からです。色々なご縁があって現在に至りましたが、40代にして新人です。普段は老人保健施設で高齢者中心の仕事をしており、今の職場に移る前も、小児・発達領域に携わったことはありません。こどもと接するのは小学生の我が子2人とその友達が中心です。ですから、発達に支援を必要とするこどもへの対応をするには不安が沢山の、そこでまず必要になってくるのが、発達や学校支援に関する知識や技術のインプットです（マイペースですが・・・）。

今までの私にとって未知の領域であった発達・学校支援に関する勉強を重ねてみて思うことは、作業療法に流れる根底の理念はどんな年代でも、どんな症状でも同じ！ということです。その領域ごとで、アプローチの仕方や切り口は違ってきますが、「その人がおかれている環境で、その人の可能性を見つけて、それを伸ばす」ことはどの領域にも共通することなのだと思います。

このことを思った時、思い出す本があります。私が学生だった頃に、先生に勧められた「作業療法の源流」という本です。タイトルの通り（今は「新 作業療法の源流」となっています）、今の作業療法の源流となった、先人たちの知恵と工夫と努力が紹介されています。今とはアプローチの仕方が違う部分もありますが、「可能性を見つけて伸ばす」ことはどの時代にも共通していたんだな～と思うのです。作業療法は深いですね～。



古い本ですが、興味のある方はぜひどうぞ♡今年は2カ月連続で書籍の紹介となりました。来月もお楽しみに！！